

平成17年8月18日  
消 防 庁

「高速道路におけるヘリコプターの離着陸に関する検討」  
～ヘリコプター離着陸の要件・連絡体制等の整理～

1 内容

平成12年6月に関係省庁等による「高速道路におけるヘリコプターの活用に関する検討会」が発足し、過去における大規模災害時及び救急業務へのヘリコプター活用に関する検討結果も踏まえ、平成14年12月18日に中間とりまとめをし、現在まで運用してきたところです。

この度関係省庁による更なる検討の結果、高速道路本線上への離着陸を含め、高速道路におけるヘリコプターの活用をドクターヘリの運航を基本にフローチャートなどにより分かりやすく整理し、別添通知を发出するものです。

2 効果

具体的な運航マニュアルのようなものがなかったため、実際に高速道路に着陸する事案は少なかったものの、今後は地域で通知内容について地域の実情に応じて安全にドクターヘリが運航され、救命効果が高まることが期待されます。

3 今後の予定

高速道路本線の幅や障害物による着陸可能ランク分けが日本道路公団により順次実施されることになっており、また消防防災ヘリについても、ホバリング(空中停止)による吊り上げ救助等、高速道路における更なる有効な活用方法について、風速実験を実施していくなど、今後更に関係省庁等による検討を進めていきます。

問い合わせ先：総務省消防庁  
国民保護・防災部応急対策室  
航空専門官 中地  
航空係長 菅野  
電話 03-5253-7527  
FAX 03-5253-7537